

平成28年第3回砂川市議会臨時会

平成28年3月25日（金曜日）第1号

○議事日程

- 開会宣告
- 開議宣告
- 日程第 1 会議録署名議員指名
議事日程報告
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 議案第 1号 平成27年度砂川市一般会計補正予算
閉会宣告

○本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員指名
辻 勲議員
武田 圭介議員
議事日程報告
- 日程第 2 会期の決定
自 3月25日 1日間
至 3月25日
- 日程第 3 議案第 1号 平成27年度砂川市一般会計補正予算

○出席議員（11名）

議長	飯澤明彦君	副議長	水島美喜子君
議員	多比良和伸君	議員	中道博武君
	佐々木政幸君		武田真君
	武田圭介君		辻勲君
	北谷文夫君		沢田広志君
	小黒弘君		

○欠席議員（2名）

増井浩一君	増山裕司君
-------	-------

○議会出席者報告○

1. 本議会に説明のため出席を求めた者は次のとおりである。

砂川市長	善岡雅文
砂川市教育委員会委員長	遠藤芳春
砂川市監査委員	奥山昭
砂川市選挙管理委員会委員長	其田晶子
砂川市農業委員会会長	渡邊勝郎

2. 砂川市長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

副市長	角丸誠一
病院事業管理者	小熊豊
総務部長兼会計管理者	湯浅克己
総務部審議監	熊崎一弘
市民部長	高橋豊
経済部長	田伏清巳
建設部長	古木信繁
病院事務局長	氏家実
総務課長	安田貢
政策調整課長	河原希之

3. 砂川市教育委員会委員長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

教育長	井上克也
教育次長	和泉肇

4. 砂川市監査委員の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

監査事務局長	中出利明
--------	------

5. 砂川市選挙管理委員会委員長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

選挙管理委員会事務局長	湯浅克己
-------------	------

6. 砂川市農業委員会会長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

農業委員会事務局長	田伏清巳
-----------	------

7. 本議会の事務に従事する者は次のとおりである。

事務局長	峯田和興
事務局次長	高橋伸二
事務局主幹	佐々木純人
事務局係長	渡部秀樹

開会 午前 9時59分

◎開会宣告

○議長 飯澤明彦君 ただいまから平成28年第3回砂川市議会臨時会を開会します。

◎開議宣告

○議長 飯澤明彦君 本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席、遅参の届け出のあった方を事務局長に報告させます。

○議会事務局長 峯田和興君 本日の会議に欠席と届け出のありました議員は、増山裕司議員、増井浩一議員であります。

◎日程第1 会議録署名議員指名

○議長 飯澤明彦君 日程第1、会議録署名議員の指名を議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第78条の規定により、辻勲議員及び武田圭介議員を指名します。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第2 会期の決定

○議長 飯澤明彦君 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

今臨時会の会期は、3月25日の1日間にしたいと思っております。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、会期は1日間と決定しました。

◎日程第3 議案第1号 平成27年度砂川市一般会計補正予算

○議長 飯澤明彦君 日程第3、議案第1号 平成27年度砂川市一般会計補正予算を議題とします。

提案者の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長 湯浅克己君 (登壇) 議案第1号 平成27年度砂川市一般会計補正予算についてご説明を申し上げます。

今回の補正は、第10号であります。

第1条は、歳入歳出予算の補正であります。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,569万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ125億7,275万7,000円とするものであります。

第2条は、繰越明許費であります。4ページ、第2表、繰越明許費に記載のとおり、2

款総務費、1項総務管理費の中空知就業・移住支援事業、7款商工費、1項商工費の地域資源を活用した観光客誘客事業について平成28年度に繰り越すものであります。

今回の補正予算は、国の補正予算に計上された地方創生加速化交付金の対象事業である地方公共団体において、総合戦略に位置づけられた事業であって、地域のしごと創生に重点を置きつつ、一億総活躍社会実現に向けた緊急対策にも資する先駆性を有する事業として認められた砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標2「新たなひとの流れをつくる」に位置づけられた2事業について計上するものであります。

それでは、歳出からご説明を申し上げます。10ページをお開きいただきたいと存じます。2款総務費、1項6目企画費で二重丸、地方創生加速化交付金事業に要する経費の中空知就業・移住支援事業として就業・移住支援事業委託料176万9,000円の補正は、中空知定住自立圏の広域連携事業として実施するしごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業の砂川市の負担分であります。中空知圏域における共通課題として雇用の機会があっても働き手が不足するという雇用のミスマッチによる人材不足が深刻な状況にあり、また都市圏での知名度が低く、圏域外から人を呼び込むことが難しく、進学や就職時に圏域外の人口流出が続いている状況であることから、就業・移住支援の取り組みとして圏域における多様で充実した仕事という地域資源に関する情報や魅力を知ってもらうための情報発信を行い、都市部からの有能な人材の獲得や圏域外に進学した学生に対して就職時におけるUターンの促進につなげていくなど、地元定着を図ることにより人材不足の解消を図っていくとともに、多様な生活居住環境による幅広い暮らしの選択肢や四季を通じたレジャー環境など、この圏域だからこそ実現できるライフスタイルについて情報発信を行い、効果的な就業や移住の促進、定着を図るため取り組むものであります。委託する業務につきましては、情報収集、ターゲット分析として企業の情報や求人に関する情報を収集するための企業ヒアリングを行うとともに、移住者等への取材を行い中空知の魅力や売り込みのコンセプトを明らかにし、ターゲットや戦略を明確化して最適な就業・移住プロモーションプランの構築につなげていくものであり、就業・移住プロモーションとしてキャッチコピーやイメージ動画、企業冊子の作成、仕事や暮らしに関する情報をまとめたサイトの構築、発信力の高い雑誌やサイトへの掲載、就業・移住相談などを予定しており、さらに企業等の協力もいただきながら企業見学や体験ツアー、インターンシップ等の実施により仕事を実際に見てもらい、体験してもらいことも検討することとしているものであります。全体経費は4,618万円であり、滝川市が3,025万9,000円、砂川市を含めた他の9市町が176万9,000円を委託料として負担するものであります。

次に、12ページ、7款商工費、1項3目観光費で二重丸、地方創生加速化交付金事業に要する経費の地域資源を活用した観光客誘客事業として、観光情報発信ポータルサイト等整備委託料2,392万8,000円の補正は、スイートロードなどの食に関連した地域資源を活用し、官民が連携して観光客が求める情報の発信を強化し、まちのにぎわいの

創出、地域経済の活性化を図るものであります。市内の店舗、飲食店などにみずからフリーワイファイのアクセスポイントの設置を行っていただき、各店舗等への集客を図るとともに、このアクセスポイントを起点として情報発信を進め、市内への回遊を促進させる取り組みを行うものであります。委託する業務につきましては、市内の店舗、飲食店などを対象にフリーワイファイのアクセスポイントの設置について意向調査を行い、また砂川観光協会と連携して魅力的なPRを行うことで砂川市への集客につなげるため、観光協会のホームページをポータルサイト化するとともに、各店舗などのフリーワイファイのアクセスポイントからインターネットに接続した場合に、このポータルサイトに接続する設定を行い、多くの方々に食に関連するもの、観光スポット等の情報に触れる機会の提供を図り、さらに多言語化に対応するページの作成を行うほか、各店舗などがみずから開設しているホームページについて継続的な情報の更新、発信ができるよう、ホームページの更新、SNSの運用などのアドバイス、多言語化への対応などを行うものであります。

以上が歳出でありまして、歳入につきましては5ページ、総括でご説明を申し上げます。14款国庫支出金で2,569万7,000円の補正は、地方創生加速化交付金事業費補助金であります。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長 飯澤明彦君 これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

武田真議員。

○武田 真議員（登壇） それでは、議案第1号の地域資源を活用した観光客誘客事業について質疑をさせていただきます。

先ほどの提案説明にもありましたが、今回の補正については平成27年度に地方創生加速化交付金が制度化され、その活用について申請したところ交付されたものと理解します。

そこで、地域資源を活用した観光客誘客事業、観光情報発信ポータルサイト等整備委託料について伺っていきたくと思いますが、まず第1点目としてポータルサイトについてですが、通常ポータルサイトといいますときまざまなコンテンツを有する巨大なホームページを意味するものだと思います。例えば日本でいえばヤフーが代表的だと思いますが、ニュースやショッピング、検索エンジンを備え、私たちが日常的に利用しているかと思えます。今回の提案にありましたポータルサイトについては、観光客が求める情報の発信を強化するものとされていましたが、具体的にどのようなコンテンツを考え、またポータルサイトということであればどのように総合的に情報を発信するイメージをされているのか伺います。

次に、フリーワイファイを設置し、集客を促進するとのことでしたが、フリーワイファイとはつまりは無料の無線LANのアクセスポイントを設置するものと理解します。近年スマートフォンが世界的に普及しており、日本人及び外国人の観光客も無料の無線LAN

を利用して、スマートフォンにより観光情報を得たり、逆に情報を発信している事例が多いと伺っています。しかし、日本においては無料の無線LANを利用できる場所が少なく、外国人観光客の不満も多いとの報告があります。フリーワイファイについては、例えば全国的な飲食チェーン店においては、単にフリーワイファイを設置しているだけではなく、お店のフリーワイファイを利用することによりサービスが付加される、あるいはあるコンビニエンスチェーンではフリーワイファイを利用することでゲームのキャラクターがもらえるなど、単に無料の場を提供するだけではなく、さまざまなサービスを付加することにより集客につなげている事例が見受けられます。今般の市内の飲食店と連携したフリーワイファイについては、今後どのような展開を予定しているのか。また、先ほどのポータルサイトとの連携についても具体的にどのように考えているのか伺います。

3点目は、ホームページをみずから開設している事業者に対しアドバイスを行うとありましたが、それらのホームページとポータルサイトとの関係について伺い、初回の質疑といたします。

○議長 飯澤明彦君 経済部長。

○経済部長 田伏清巳君（登壇） 大きく3点のご質問を頂戴いたしましたので、順次ご答弁申し上げます。

初めに、今回提案のあったポータルサイトについて、具体的にどのようなコンテンツを考え、またどのように総合的な情報発信をイメージしているのかについてでございますが、本ポータルサイトは砂川の観光分野の情報を一つにまとめ、よりパワーアップした情報発信を図るものであります。具体的には、市内の飲食店を中心とした個店の情報発信を現在より強化して掲載するほか、北海道子どもの国、砂川オアシスパークといった砂川の既存の観光施設等についても掲載をするものであります。掲載する個店につきましては、店ごとのページを設け、店舗の所在地や問い合わせ先等の基本的な情報のほか、取り扱っている商品やメニューの写真等を掲載することで、ページを見た人へのPR効果を高めるものであります。また、既にホームページを持っている個店に対しては、リンクを張ることで各個店のホームページを見てもらい、さらなるPR効果を図るものであります。

続きまして、フリーワイファイについて今後の展開とポータルサイトとの連携についてでございますが、本事業では各個店へのフリーワイファイスポットの設置は各個店の負担によるものであります。個店向けの説明会を開催し、フリーワイファイスポットのメリット等について紹介することで多くの個店に参加を促すものです。フリーワイファイスポットの設置については、後からの参加も可能であるため、今後の展開としては参加する店舗数がふえることにより市内のワイファイ環境がより広く整備されることが見込まれます。また、ポータルサイトとの連携については、本フリーワイファイを経由してインターネットに接続した際、自動的に本ポータルサイトにアクセスできるようにすることで、その個店に限定せず、砂川の観光施設や他の飲食店等のPRにつなげるようにするものでありま

す。

続きまして、事業者が開設しているホームページとポータルサイトの関係についてありますが、事業者が既に開設しているホームページにつきましては、希望する事業者に対してより見やすいレイアウトやデザイン等、ホームページの構成やその内容等についてアドバイスをを行い、よりPR効果の高いホームページにすることのほか、ポータルサイト内の各個店のページにリンクを張り、各個店のホームページへの誘導を図ることでさらなるPR効果を図るものであります。

○議長 飯澤明彦君 武田真議員。

○武田 真議員 それでは、再質疑していきましても、第1点目のポータルサイトのイメージというのはわかりましたけれども、やっぱりポータルサイトというのはかなり大がかりなホームページで、非常に維持管理についても大変になっていくのではないかとと思うところなのですけれども、運営に当たっては観光協会だけではなく、砂川市も観光協会と連携して運営を図っていくのかどうかについて、そういう理解でいいのかどうか、まず確認したいと思います。

あとポータルサイトというからには、非常に大がかりなサイトということになりますが、市内の関係団体だけでなく、市外の旅行会社や、あるいは雑誌、メディアとの連携、あるいは他の自治体との連携も考えていかねばならないと思うのですけれども、そうした外部との連携、あるいは構想があるのかどうか、可能性があるのかどうかお伺いしたいと思います。

それと、フリーワイファイについてですけれども、場所を提供していく、そしてそれからポータルサイトにつなげていくというのはよくわかったのですけれども、同様の取り組みは各地域でも今後出てくるのではないかとということが予想できるのですが、そうした場合の差別化というか、砂川市におけるフリーワイファイの付加価値をどのようにつけていくのか、サービスをどういうふうに行っていくかという、その研究が必要になってくると思うのですけれども、そういった研究についてぜひ先進地の事例等を研究していただきたいと思います。

○議長 飯澤明彦君 経済部長。

○経済部長 田伏清巳君 ご質問、3点になろうかと思います。

初め、市と観光協会との本ポータルサイト運営に関する際の連携についてなのですが、これは武田議員さんのご理解のとおりでございます、このポータルサイトそのものは観光協会さんが直接運営することになりますけれども、そもそもが砂川市全体のPR、情報発信を目指した事業でありますから、例えば情報の提供ですとか内容の更新、さらにはポータルサイトのパワーアップそのものなどを砂川市の担当部局と観光協会さんと連携をして、さらなるいいホームページになることを目指していきたいというふうに考えているところでございます。

それから、外部との連携、これもおっしゃるとおりでございます、とても砂川市だけで企画運営できるものではございませんで、例えば今3点アドバイスいただきました旅行会社ですね、既に実はこのポータルサイトを仕掛けるといいますか、起案する際に複数の旅行会社さんとの接触をさせていただいております。これは、国内のお客様はもちろんですが、インバウンド、最近よくはやり言葉で使いますが、海外のお客様の受け入れも考えなければならぬと思うのです。特に砂川の場合はハイウェイオアシス館に台湾、中国の方が非常にお見えになっていますので、先般この北海道で中国を中心として台湾、東南アジアのお客様が北海道に入るときに、その大多数をまず受け入れるという旅行会社さんとの接触に成功……成功といいますか、パイプができて、この今回の企画についてご説明をさせていただきました。そこで、その会社のほうからいろんなご提言だとかアドバイスをいただきましたので、今後もそこら辺は環境を強化してパワーアップをしていきたいというふうに考えているところでございます。

それから、当然インターネット等のIT関係の強化でありますけれども、紙媒体も非常に大事だと考えておまして、雑誌ですとかメディア等の関係も強化したいと思っておりますが、ご承知のとおり去年からじゃらんさんとの連携を密にしておまして、ことしもじゃらんさんとの情報の発信のところでお力をかりるところでありますけれども、じゃらんさんにも今後フリーワイファイのスポットができましたよですとか、観光協会のホームページがパワーアップになりましたというような情報をお流しして、やはりアドバイス等々、発信の方法をご提言いただければなというふうに考えております。

それから、他の自治体、中空知、最近新聞紙上でも出ていますけれども、非常にほかの自治体も力を合わせて観光客を誘致しようではないかと動きを仕掛けてくださって、砂川もその輪の中に入れていただいております。今後もその各自治体と連携強化をしまして、観光客の誘致に努めたいなと。その際、このポータルサイトというのをどんどん発信していきたいというふうに考えているところでございます。

それから、各個店がフリーワイファイのスポットを設置した場合、ただ設置しただけではなくて付加価値をつけていく研究をすべきではないかというご質問だと思いますが、まさしくそのとおりで、先般JCさんがインバウンドの研修会を開かれた際に講師で見えられた方がフリーワイファイを設置しただけですぐインバウンドにつながると勘違いしてはいけないというような非常に貴重なご提言を頂戴したように資料をいただきました。私どももフリーワイファイを設置したから、すぐそこでお客様が来るなんていう甘い考えは持っておりませんで、やっぱりそこに付加価値をつけて、そもそもフリーワイファイの存在をPRしていかなければならないと思っておりますが、例えば札幌なんか行きますとよくありますけれども、店舗にフリーワイファイ使えますよとステッカーが張ってあったりとか、それからのぼりがあったりと、それは今回の費用の中で見ておまして、設置したお店にはそういうPRグッズを配付したいなというふうに考えております。また、それから当然

そのフリーワイファイがありますよ、こういう店がありますよというのは観光協会のポータルサイトでも発信することになろうかと思えますし、さらにこれも今回の予算の中に入っていますけれども、お店に入ったときにメニューは通常日本語ですよ。そのメニューにQRコードというのをつけて、それをスマホで読み取ると多言語に変わる、こういうシステムが今あるのです。これも設置するのはお店の負担になりますけれども、その勉強会といいますか、こういうものがありますという講師を呼んで説明会を開くという費用も設けました。基本的にお話聞くと、かなり安価で日本語、英語、台湾語、中国語、ハングル、韓国ですね、この5言語は変えることができるのです。あとはフランス語とか何々語というのは追加していけばいいですということです。札幌などの居酒屋なんかで既に普及している話なので、こういうところも砂川では普及していくような方向を目指したい。それと、観光協会のポータルサイト、あくまでも国内向けにつくりましても、そこをベースにしまして、外国人の方向けのポータルサイトも今回の費用でつくりたいなというふうに考えております。ただ、いずれにしてもフリーワイファイの付加価値ですとか魅力づくりというのはまだまだ私どももわからないことがたくさんありますので、議員さんのご提言のとおり、ご指摘のとおり研究というのは進めていきたいなというふうに考えております。

○議長 飯澤明彦君 武田真議員。

○武田 真議員 市と観光協会との連携、あと外部との連携、さらにフリーワイファイについても研究していただけるということだったのですけれども、最後にポータルサイトというふうに大きく砂川市として出たわけなのですけれども、そうしますと砂川市としても今後観光の情報発信にとどまらず、さまざまな可能性についてもこのポータルサイトを使ってチャレンジしてほしいと思うわけなのですけれども、例えば最近ポータルサイトというのは基本的にコンテンツが一番重要なものになってくるのですけれども、最近そうしたコンテンツをユーザーがみずからつくってもらい、人気を博しているようなサイトが何件か見当たるのですけれども、例えば皆さんご存じだと思えるのですけれども、グルメ系で食べログというのがあると思えるのですけれども、このサイトの基本的な情報はオーナーがつくるのですけれども、その中のコンテンツは、掲載させる写真とかメニューについては口コミで利用者がいろんな情報をつけ加えていく形でコンテンツを充実させていくというようなサイトもありまして、こういった形でサイトのコンテンツを充実していくということはユーザーサイドがつくることによって運営サイドのコストも削減していくというような仕組みを備えたサイトも人気があるというような状況もあります。当然投稿してもらうにはどういったふうをお願いしたらいいのか、あるいはいろいろネット上で話題になっている炎上とかあると思えるのですけれども、そういった対策はどうしたらいいのかということをいろいろ考えていかなければならないのですけれども、ただ単に運営者が情報を一方的に発信するというのではなくて、利用者も巻き込んだような形のサイトの運営というの

が単なるホームページではなくて、ポータルサイトと銘打つわけですから、そういった形でぜひ運営していただきたいと。ポータルサイトの名に恥じないような運営を要望しまして、私の質疑とさせていただきますと思います。

○議長 飯澤明彦君 経済部長。

○経済部長 田伏清巳君 本当に武田議員さんのおっしゃるとおりでございまして、まずはトータルで砂川市を発信することの大切さというのは認識しておりましたが、まさに今取り組もうとしているホームページ上のポータルサイトですとかフリーワイファイの部分が、なかなか課題だったのに踏み込めなかった部分だったのです。今回国の交付金を活用させていただいて大きく着手できるのですけれども、ただ本当に議員さんおっしゃるよう設置しただけではなくて、そこから先にその可能性を秘めていくべきですし、また逆に炎上というような言葉がありまして、課題もあると思うのです。ただ、そこら辺は十分研究した上で、このポータルサイトをただ設置するだけではなくて、参加型といいますか、皆さんで運営していけるような楽しい質の高いポータルサイトを目指していきたいと思しますので、また今後ともよろしく願い申し上げます。ありがとうございます。

○議長 飯澤明彦君 辻勲議員。

○辻 勲議員 (登壇) おはようございます。議案第1号 平成27年度砂川市一般会計補正予算より地方創生加速化交付金事業に要する経費について質疑をいたします。

総務管理費の企画費の部分なのですが、中空知就業・移住支援事業ということで、総務部長のほうから詳しく説明がありました。移住、定住については砂川市でも取り組んでいるところでもありますし、このたびの3月の定例議会でも市長の市政執行方針の中で定住やまちなか居住の推進ということも言われておりますけれども、私は砂川市で地域再生計画を出して、それでというふうに思っていたのですが、今回も定住自立圏のことが今説明の中で出てきましたので、その辺のところ、これは定住自立圏としてというか、別物というのですか、砂川でもそういう事業を行っているのですけれども、そういう単独ではないという、その辺の関係についてお伺いしたいと思います。

それで、地方創生は人口減少の歯どめということが基盤になっているというふうに考えているのですけれども、もろもろの事業、今説明ありましたけれども、期待される効果についてお伺いしたいと思います。

以上、1回目の質疑を終わります。

○議長 飯澤明彦君 総務部審議監。

○総務部審議監 熊崎一弘君 (登壇) 今ほど2点にわたってご質疑をいただきましたので、順次答弁させていただきますけれども、まず移住、定住についての関係でございます。

砂川市でも独自に取り組んでいるところでございまして、これが今回補正の事業との関係でございます。この事業につきましては、雇用のミスマッチというのが非常に圏域で課

題となっていることから取り組むものでございまして、砂川市単独で行う移住、定住促進事業とは当然のことながら連携しながら、今回は中空知広域連携事業として5市5町の中で情報発信を図りながら就業を含めた移住、定住を促進していくと。一つ一つの町が単独でやるのではなくて、5市5町で進めていきたいというふうな考えに基づいての予算でございます。

続きまして、人口減少の関係でよろしかったかなと思います。地方創生は、人口減少の歯どめということが基盤になっているというところでの、この期待される効果ということのご質疑だと受けとめました。就業情報、移住情報、生活環境や地域資源が総合的な発信、都市部などのプロモーションなど広域的に取り組むことによりまして、単独の市町で提案できないような情報発信をすることができることで、砂川市の特色である情報を発信することで、少なからず就業や移住の場所として砂川市を選択されるということが考えられることから、少しでも移住がふえていく、そういう思いをしての事業として選択しているところでございます。

○議長 飯澤明彦君 辻勲議員。

○辻 勲議員 それでは、2回目の質疑なのですけれども、今定住自立圏のことということなわけですけれども、私も去年の9月には一般質問させていただきまして、共生ビジョン等々の質問をさせていただいた中で今答弁があったように、そのときには今後連携をとって新型交付金も28年度は出てくるだろうというような答弁もありました。それで、今回その予算の中で滝川は中心ということで多いのでしょうか。ほかの市町村は今回砂川と同じ予算ということだったと思うのですけれども、この辺のことについてお伺いしたいと思うのですけれども、ほかの議会でも同じように、このように臨時の議会を開いてやっていくのでしょうか。その辺のところをまずお聞きしたいですし、また出るいろいろ出てきたのですけれども、この事業に対してUターン事業というのも出てきて、これはよく市民から、これはいいなと思うのですけれども、やはり砂川に戻ってくるということを常に私もまちの声としては聞いております。こういった事業の今回の展開の仕方というのですか、それぞれ10市町あるわけですから、砂川だけがああだこうだということにもならないという部分もあると思うのですけれども、その部分で定住自立圏ということになると懇談会もやっております。その中でまた推進されていくのか。あそこは、恐らくビジョンを立てるための場所だと思うので、それは関係ないのかどうなのかということも含めましてお伺いしたいと思います。

2回目、まずお願いします。

○議長 飯澤明彦君 総務部審議監。

○総務部審議監 熊崎一弘君 2点ほどご質問があったかと思います。

まず、予算の関係でございます。もともとこの加速化交付金事業というのは国の27年度の補正予算で決定されたのですけれども、去年の12月に都道府県の担当課長会議とい

うのが中央で行われまして、この国の補正予算というのが明らかにされました。その後、年明けまして1月14日に都道府県の担当課長会議というのがあって、細かい事業内容、こういう事案に使えますよという説明があったというところで、非常に短い中での検討作業となっているところでございます。その前段に総合戦略でそれぞれの町がいろんな事業をやっていこうという考えの中でそれぞれ事業を進めようとしていた部分がございます、この仕事の関係につきましては滝川さんも独自でやっていきたいなという思いも多少あったというふうに伺っているところでございます。ただ、今回の加速化事業については広域連携という部分を非常にキーワード的には高いレベルを持って、採択しやすいというようなこともございまして、5市5町全体でできないだろうかというお話が定住自立圏の幹事会という企画を担当する課長会議の中でお話がありまして、取り組めるのであればということで急遽検討したということでございまして、もとはやはり滝川市がやっていきたいという部分がありまして、経費の負担についても、先ほど提案説明の中で若干させていただきましたけれども、3分の2ほどは滝川市が持つと。残りの3分の1を残りの9市町が負担するという形になっております。当市の負担する割合については、残りの滝川市以外の8市町と同額ということになっているところでございます。

あと定住自立圏との関係につきましても、これも昨年の秋、ビジョンの懇談会等もやっているわけですが、その中ではやはりこういう仕事の問題について、仕事があるのだけれども、人がいないというお話をいただいたというふうに懇談会の中ではありましたので、やはりその辺も今回の事業選択の中では各市町、やっぱりやっていかなければならないだろうということで事業の選択に当たったところでございます。

予算の考え方として、この事業の採択が3月18日に国のほうで内示があったということで、今週、来週でそれぞれの町が臨時会等で対応するという部分もありますし、内示を見越して、もしかすると3月の定例会の中で補正予算を組んでいる市町もあるかもしれませんけれども、当市については内示があってからということで、この期に及んだところでございます。

あと答弁漏れがあったら、ご指摘いただければと思います。

○議長 飯澤明彦君 辻勲議員。

○辻 勲議員 定住自立圏ということであれば、雇用・就業支援対策事業というのが出ていまして、市長も言うておられます通年雇用をしていくような協議会もやっていくという部分もあるので、そういうことも含めて、これはそれぞれの町が違う、今もろもろのUターンとかいろんなのがありましたけれども、それぞれ同じものなのか、事業内容ですよ。展開の仕方なのですから、その辺がもう少し詳しくどういうふうに、それぞれの町と一緒に、これから議会通ったら今後どこかでまた懇談会か何かやっていくのか。その辺のところについて再度お聞きしたいと思います。

○議長 飯澤明彦君 総務部審議監。

○総務部審議監 熊崎一弘君 この後の事業展開についてでございますけれども、基本的には一本の事業として委託をさせていただきながら事業を進めることとなります。ただ、各市町においては、町のなりが全然違いますので、製造業があった町については仕事をしに来てくれる人がいないですとか、人はいるけれども、仕事がないなど、それぞれ町によって違うと思います。砂川市としてはやはり住んでもらいたいというのを第一に考えております。他市町村にお勤めに行っても結構なので、ぜひ砂川に住んでもらいたいなというところがありますので、砂川市的にはその辺を前面に出してお話し合いには入っていきなと思っていますし、5市5町の企画の担当課長である定住自立圏の幹事会等々でこの後の事業については随時進めてまいります。そして、委託業者さんが決まった後も随時お話し合いをさせていただきながら、先ほどポータルサイトとか話もありましたけれども、サイト関係を構築していったりしながらPRしていこうというふうな形になりますので、各市町若干特色がそれぞれ違うと思うので、発信の仕方は多少変わるかもしれませんが、それを一本のものとして発信していくという考えで事業を進めることとなっておりますので、ご理解いただきたいなと思います。

○議長 飯澤明彦君 武田圭介議員。

○武田圭介議員（登壇） 今ほどお二人の質疑もあったのですけれども、もう少し質疑をさせていただきたいと思います。

私も平成27年度一般会計補正予算について質疑を行います。今回の補正予算は、国からの交付金をもらって総務費と商工費で予算計上されていますが、まず総務費の関係で先ほどの提案説明で概略は理解いたしました。

そこで、何点かお伺いいたします。中空知就業・移住支援事業ということで、今回支援委託料を計上して広域で連携して事業を行うとのことでもありますけれども、今ほどの答弁の中にもありましたけれども、今後委託を出す際に砂川市の地域的な特色を生かした委託内容にできるのか、それとも広域連携の一環としての定住自立圏という枠組みでの実施ということであれば、構成市町が統一した内容での委託となるのかをお伺いしたいと思います。

次に、この事業を実施することによって期待される効果とサイト構築のための支援を行うだけでは、実際にはなかなか移住者がふえてこないと思いますけれども、サイトを構築するまでの予算措置をして、あとは成り行きに任せるであってはいけないと思います。当然国からの交付金であっても税金には変わりないわけですから、今回予算をかけて構築されるサイト等を利活用して、実際に移住者をふやしていこうということをどのように認識されて予算を計上してきたのかを伺います。

加えて、圏域の人口をふやすためにサイト構築や情報発信を強化していくのであれば、既存の自治体サイト及び個人サイトとの連携や動画、フェイスブック、ツイッターなどのさまざまなSNSとの相互リンクがクラスターとして広がり続けていくことがインターネ

ットの世界では至極当たり前のように行われていますけれども、今回の予算においてはそういう体制の構築も事業委託料に含まれているのか伺います。

次に、商工費についてでありますけれども、細かい質疑は再質疑等で行うこととして、まず最初にそもそも論としてさきの提案説明にあったような事業を展開する上で、こちらは総務費で質疑した内容と若干異なりまして、砂川市の単独事業であります。ですので、今後委託を出す際には委託に細かな条件を付することが可能であるのか。もし可能であるとすれば、今現在これだけの予算をかけて事業を目標どおりに達成していこうとするためには、砂川市としてどのようなビジョンを持って委託にかけようとしているのかを伺いたいと思います。

以上のことを伺いまして、演壇からの1回目の質疑といたします。

○議長 飯澤明彦君 総務部審議監。

○総務部審議監 熊崎一弘君（登壇） 3点ほどの質疑だったと思います。順次お答えさせていただきます。

委託を出す際、砂川市の特色を生かした内容にできるかという意味合いでのご質疑だと思います。本事業における委託につきましては、中空知定住自立圏のしごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援という事業でございまして、この枠組みである中空知5市5町の連名で契約をすることとしております。契約内容は、5市5町全て同じということではありませんけれども、先ほども若干ご答弁させていただきましたけれども、個別の内容につきましてはそれぞれの市町の特徴がございまして、その辺は十分内部での協議ができるものと考えているところでございます。

続きまして、構築されるサイト関係、どのような連携というふうなご質問かなと思っております。サイト構築のほか、都市部などへのプロモーション、雑誌掲載や就業、移住相談についても仕掛ける予定としておりまして、また地元企業の協力もいただきまして、企業見学ですとか体験ツアーなども今後展開していく予定でございます。

3点目になります。自治体ですとか個人サイト、それからツイッター、フェイスブックなどのリンクの関係かなと思っております。それらの委託料はということでございますけれども、委託業者の選定に当たりましてはより多くの方々への情報発信、連携が必要と考えております。それをいかに効果的にできるかという、あらゆる効果的な手法を含めたご提案をいただくプロポーザル方式で行うことを予定しております。ツイッター、フェイスブックなどのSNSとの相互リンクも含めたサイトの構築についても、5市5町の全体事業費4,618万円でございます。その中に含まれているということでございます。

○議長 飯澤明彦君 経済部長。

○経済部長 田伏清巳君（登壇） 先ほどの武田真議員さんへのご答弁と重複する部分もあろうかと思いますが、その点お許しを願いたいと思います。

ご質問の委託会社を決める際に細かな委託条件を付すことは可能であるか。可能ならば、

今現在市としてどのようなビジョンを持っているのかについてでございますけれども、初めに委託業者の選定はフリーワイファイのアクセスポイントの設置の意向調査、また観光協会のホームページのポータルサイト化、多言語化対応、ホームページの更新やSNSの運用などのアドバイスなど、専門性を要する事業を一括して委託することから、プロポーザル方式によりまして委託業者の選定を予定しておりまして、その際に必要な委託条件を付す考えに至っております。

次に、市としてのビジョンにつきましては、ふるさと名物応援宣言をいたしました砂川スイーツを初めとしまして、食に関連した地域資源のほかに砂川オアシスパークや子どもの国などの観光施設などを活用した情報発信につきまして、官民連携して取り組んでまいりたいと考えております。そのためには、市内の店舗、飲食店における情報発信力の強化やインバウンド対応の必要性などについて、砂川観光協会を初め個店の皆さんと認識を共有して観光客の皆様が求める情報発信力の強化とともに、フリーワイファイのアクセスポイントの設置を促進し、そのアクセスポイントを起点とした情報発信を進めることで市内の店舗、飲食店、観光協会、市が連携し、まちのにぎわいの創出、地域経済の活性化を図ってまいりたいと考えているところでございます。

○議長 飯澤明彦君 武田圭介議員。

○武田圭介議員 まず、総務費の関係でありますけれども、これは定住自立圏という枠組みの中で5市5町の圏域で協力をしていくということは十分理解できますし、どこの地域も同じような課題を抱えている。特に過疎化の問題に関しては抱えているということで、それも十分理解できます。あとは、今後とも5市5町の担当者のお話し合いの中で、やはり砂川市といえば最近ではお菓子だけではなくラーメン等といった食べ物もそうですけれども、病院もあると。そもそも今回予算として上がっている目的がやっぱり就業と移住支援で、先ほどの答弁で出ていましたけれども、砂川市としての考えとしては砂川に住んでもらう人がふえてほしいということでありましたけれども、砂川の特徴をまきに出すのであれば食と医療というところで、できれば砂川に住んでもらって砂川で働いていただくことが一番いいと。予算の提案説明の中では、いろんなプロモーションとかをつくるというお話もありましたけれども、そこで各自治体のそれぞれ持っている特色、例えば5市5町の中でも農村地帯であるところもあれば、うちみたく食や医療のまちであるところもあるし、工業が専門になっているまちもあると。そういったようなPRの仕方というのは、今ほどの答弁の中で今後委託を決める際に担当者の会議の中で話ができるのだなということにはよくわかりました。

問題は、最初の質疑でも聞いたのですけれども、そういったプロモーションをつくる、サイトを構築する、そういったことがあったとしても、それがまだ入り口なわけであって、つくって終わりではないわけです。つくった以上、実際にやっぱり人を呼び込んでこないといけないわけです。そのときには、いいところをどうしてもPRしがちになるのですけ

れども、北海道はやはり冬のハンディというものがあるし、Uターンとかの人であれば小さいころ砂川に住んでいたとかという記憶があるでしょうけれども、全く北海道に住んだこともない方をこちらに呼び込もうとすれば、やはり現役世代の方は働く場所が本当にあるのかと。その雇用のミスマッチということを考えたときに、都会でできないことを田舎でやりたいという人もいれば、都会でやってきたスキルをこの砂川の地で生かしたいと。砂川に限らず、定住自立圏の範囲内の自治体で生かせるスキルがあれば、そこで生かしたいというようなことも多分出てくると思うのです。ですので、そういったところにやはりしっかりと配慮をしていかなければ、予算を国からの税金でつくるから、市のお財布は傷まないかもしれないですけれども、やはりそこは税金ですから、使った以上しっかりとした成果が出るようにしていただきたいなというふうに思っております。ですので、その辺今後実際にまだ予算をかけて入り口をつくって、今後それを本当に目に見える形でどんどん、どんどん人を呼び込んでくる。先ほどツアーというお話も提案説明の中でありましたけれども、単にその目的意識のない方を連れてくるというよりは、やはり不利な条件をこちらが、特に気候の条件ですね、不利な条件等を提示しながらでも、真摯にやはり田舎暮らしに憧れている方とかというのを呼び込めるようなことも考えていかないと、安易にインターネットとかで発信ができるからという、その技術だけに頼ってしまうとやっぱり来ない。最終的には、やっぱり人の心だと思うのです。ですから、そういったところに対してもしっかりと配慮してほしいと思うのですけれども、その点についてどのようにお考えになるのか伺いたいと思います。

それから、ほかの個人サイト、自治体サイト等の連携ですけれども、これももう陳腐化した話になるかもしれませんが、至極当たり前の話ですから。これについても、先ほどの答弁でもありましたけれども、どこでも当たり前にやっているようなことですから、ただその原点回帰だけは忘れずに、常にただ一回そういうサイトを構築してリンクを張ったから終わりではなく、やはり常に更新をしていかなければ、それは一回最初物珍しきで見られるかもしれないけれども、その後継続して見てくれるということにはつながりませんので、この辺の体制もしっかりと考えていただきたいと思います。

次に、商工費のほうの話なのですけれども、私の聞き方が悪かったのか、委託する会社さんにこういうことを委託するのだという答弁をいただいたのですけれども、そうではなく私が本当は聞きたかったのは、今ほど総務の関係でも言いましたけれども、砂川市はやっぱり食のまちでもあるし、医療のまちであるので、ましてや今度は商工の場合は砂川市の単独事業として行うわけですから、近隣の自治体に配慮する必要はないので、そういった砂川市の特色を前面に出すような観光PRみたいなのを委託条件として加えることはできないのかという趣旨でお伺いしたつもりだったのですけれども、その点についても再度お伺いしたいと思います。

それから、先ほどほかの議員とのやりとりの中でいろいろな事業でこういうものが予算

に含まれているというお話があったのですけれども、提案説明の中ではさらっとお話をされていて、予算書を見ると「等」というものがくっついているのですけれども、もう少し今回観光に関しての予算の中身というものがわかれば、詳細を教えてくださいなというふうに思っております。

それと、これももうほかの議員と重複しないような形で言いますけれども、入り口となるポータルサイトをやっぱり構築するということを支援するだけではやっぱり不十分で、今ほど言いましたけれども、サイトの更新頻度が上がらないと、最初は皆さん見てくれますけれども、何回も見ても、結局情報が古いままであるとか、発信しているものが目新しさがない、新奇性がない、奇抜性がないというふうになってくると、だんだんやっぱり見てくれなくなりますので、こういった更新頻度を上げていくことというのは、先ほど何か相談支援みたいなものが予算の中には含まれているというお話があったのですけれども、もうちょっとその詳細がわかればそれを教えてくださいなというふうに思います。

それと、サイトをつくる支援は今回行うのですが、当然サイトをつくった後、やはりランニングコスト的なものが発生してくると思うのですけれども、その点についてはどのように考えているのかということをお伺いしたいと思います。

それから、先ほどの答弁の中では多言語機能も入れるということで、5カ国語が今対応になるということだったのですけれども、ただサイトの中身を日本語から外国語に変えるだけではただの紹介にとどまると思うのです。でなくて、これもほかの議員の質疑の中の答弁に出ていましたけれども、インバウンドということで海外から観光客とか、それから買い物客とかを砂川市内に入れて回遊をしてもらおうと思えば、ただ翻訳サイトで翻訳をするだけでなく、やはり外国人に対して何か日本人とは別の付加価値のあるような情報発信をしていかないと、これはほかの自治体と競争しているような状態になっていますので、やはりそこはなかなか難しいと思うのです。昨年市長も1週間ほど中国に行かれてトップセールスをしてこられましたけれども、先ほどの答弁にもあったように、確かに砂川ハイウェイ・オアシスには観光バスが乗りつけてきたりはしますけれども、まだまだ潜在力があっても、では市内に海外のお客さんが回遊しているかということ、決して今回予算で上がるワイファイだけの環境ではないと思うのですけれども、やっぱりそういったような魅力、砂川の地元の人しか知らない魅力、先般一般質問の中で映像機構の話もしましたけれども、我々はもしかしたらいいところばかり見せようということに気がとられていて、むしろ外国の方から見れば日本人の日常が見たいというところがあるかもしれないのです。そういったようなものも情報力の発信強化ということであれば、特にワイファイ環境も整っていく。今スマホを持っているのが当たり前の時代であれば、そういった情報発信というものも考えていかないといけないと思うのですけれども、その点についてはどういうふうにお考えになっているのかということをお伺いしたいと思います。

それから最後に、現在砂川市にSUBACOがありまして、そこに地域おこし協力隊の

方が常駐されていますけれども、そちらのほうでも積極的にフェイスブック等を使って情報発信をされている。先ほど一つの例として観光協会、決して観光協会だけにとどまらないと思いますけれども、観光協会や個店のポータルサイトの構築やWiFi環境の整備等に予算をかけるというお話もありましたけれども、今現在活躍して頑張っている地域おこし協力隊の皆さん、いろんなイベントとかをやっています。ここに今外国の指導助手の方がハロウィンなんかでかかわることはあるのですけれども、全くの外国人観光客がかかわるというものは見受けられないのです。ですが、そういったような何かのきっかけによって砂川に興味、関心を持ってもらう。さらには、場合によっては実際に訪問してもらってリピーターになっていただくというようなことを考えるのであれば、やはりそういう似たようなことをやっている。だけれども、趣旨は違うといったところとの連携というのが必要になってくると思うのですけれども、その点今回提案されている予算の中で反映されているのかどうかということ伺いたと思います。

○議長 飯澤明彦君 総務部審議監。

○総務部審議監 熊崎一弘君 何点か2度目ということで質疑がございました。

今回の事業につきましては、今年度、27年度予算で28年度に繰り越して実施するということではあるのですけれども、当然単年度の事業ではないということのご理解は頂戴したいなと思います。高額なお金、全体では使うこととなります。やはり国の事業……市の事業も同じなのですけれども、実際特に今回こういう総合戦略にかかわる交付金事業については効果検証が非常に高く求められております。毎年度、毎年度効果検証しなさいということのお話もございます。10分の10の国費ということなので、そのハードルも非常に高いものかなというふうな理解もしておりますけれども、やはりうちの砂川市のPRの仕方もあります。議員さんご指摘のとおり、いいことばかりは言えないと思いますので、その辺は十分今後進める上では、不利なところといっても来る人にとってはそこが魅力ということもございます。その分は十分、今までも移住、定住の事業の中ではそういうふうな部分、それからまちの人とのつながりなどでのお試し暮らし等々もっております。きっとこの辺の事業が進むことによって、まずは住むのであればお試ししてみようかなという声のお客さんもいらっしゃると思いますので、そういう部分は十分利用、活用しながら進めてまいりたいなと思います。

それから、サイトを立ち上げるということで、更新の必要性を十分理解しているつもりでございますけれども、やはり古い情報がずっと更新されないようなサイト、当然私が自分で見てももう見たくないなというところあると思います。これは、皆さん同じだと思いますので、その辺の更新についても、5市5町ということで責任の所在が明らかでないのかという部分も多少、誰がやるのだろうか、誰かがやってくれるだろうかとかという部分あるかもしれませんが、その辺は担当同士でしっかり目的意識を持ちながら、更新されないサイトにならないような運用のほうを進めていきたいなと思っているところ

でございます。

○議長 飯澤明彦君 経済部長。

○経済部長 田伏清巳君 数点ご質問を頂戴しまして、順次ご答弁申し上げます。

まず初めに、砂川には食ですとか医療ですとか、いろんな魅力があるでしょう。それをきちんと発信できるようなポータルサイトにするという条件をしっかりと委託する業者に伝えるのですかというご質問ですが、これは当然技術的な形というのは専門業者さんではないとお願いできないので、今回委託しますけれども、実際どのような中身にしたいかというのは、むしろ業者さんというよりも、観光協会さんと私ども市の行政側からしっかりと説明をさせていただいて、可能な限り最大限発信をできるというような中身をつくりたい、これはもうしっかりと伝えていきたいというふうに考えております。

それから、もう少し予算の中身をということなのですが、これはあくまでもまだ見積もりの段階でして、決定ではないのですが、総体的に2,392万8,000円なのです。それを大きく分けると3本に分かれると思うのです。観光協会、ホームページのパワーアップとポータルサイト化です。それから、市内の業者さんのホームページのパワーアップですね、既に持っている方たちのパワーアップ。それから、これからつくりたいという思いのある方たちへのアドバイス、パワーアップですね、これが2点目。それから、3点目がフリーワイファイの環境整備でしょうか。これでいきますと、フリーワイファイという言葉が随分出てきますけれども、実際予算的には全体の82%が観光協会のホームページのパワーアップに投入するお金です。ポータルサイト化をします。それから、市内の業者さんのホームページに関する部分が全体の6%になります。そして、フリーワイファイの環境整備に係る費用が全体の12%になると。こういう割合になりまして、やはり観光協会さんのホームページのパワーアップというのは、今までなかなかやりたくてもできなかった部分なので、そこをしっかりと、これをチャンスとして整備をさせていただきたいというふうに考えております。細かな部分の予算については、まだ見積もり段階なのですけれども、そういうような割合になっております。

それから、観光協会のポータルサイトの更新頻度を上げるべきだと。今総務部のほうからお答えしましたけれども、ホームページをつくったときの多くの方が陥るところが、最初のうちは更新されるのですけれども、下手をすると何年も更新をしないままのホームページがあったりとか、それは逆にそこにたどり着いた形への逆効果になってしまって、何だということになるのです。決してそうなってはいけないというのは当然認識をしております。今回の予算の中には、観光協会の事務局の方がしっかりと更新できるように指導していただく、アドバイス、サポートしていただく、ホームページの設置後のサポート料も入っております。それから、こういうふうにしたらいいですという提案も入っていますし、私の認識では観光協会の理事さんとか委員さんの中にそれぞれ部会がありまして、非常にこういうホームページにたけているといえますか、お詳しい方もいらっしゃいます。

その方と前にお話ししたときに、できれば僕は極力観光協会のホームページに携わっていきたいのですというお話もお聞きしていますので、当然事務局の方だけではなくて、観光協会を運営している市民の皆様とも使用頻度を上げるような形に流れをつくっていきなというふうに考えておりますし、そういうサポート費用も入っているということです。

それから、ランニングコストですね、これも私もとても気になっておりました。初め、その見積もりが出てきたときに、こういう名称のものがありました。システム保守、それからポータルサイト運営費、これだとランニングコストに読み取れたのです。これが合計すると160万前後かかるのです。これは、あくまでも見積もりです。もっと下がると思いますが、この分がもし毎年かかるのであれば、これは観光協会さん単独では払えないだろうし、市としても丸々補助というのは想定していなかったもので、どうなのかなというところで、担当のほうで話し合いを繰り返しまして、今話している見積もりをとっている業者さんと相談した結果、まずこの金額自体全体を下げる、もっと思い切り下げる努力をしてほしいと。これは、プロポーザルですから、いろんな業者に全部同じ条件出しますし、それから毎年発生させるのではなくて、初年度にこのお金を払えば、ちょっとしたアクシデントですとか若干の問い合わせなんかは、無償でその後もある程度の年数、無償で対応していただけるようなことをこちらで条件を出すことは可能ではないかと思えます。今詰めています。これと別途に必ずかかるであろうというランニングコスト、サーバーをお借りするというか、使わなければならないのです。それは、観光協会でも運営できるものでないので、そのサーバーを使うお金がかかるのですけれども、私アナログ人間なので詳しくないので、サーバーもレンタルサーバーとクラウドサーバーという2種類があるそうです。今アドバイスを受けているのは、クラウドサーバーのほうが危険性がなくいいのではないのでしょうかというお話で、これが大体、あくまでも想定ですが、月2万前後ではないかと。掛ける12カ月ですから、24万円。これは、どんな状況でもホームページを開設する方は毎年かかるのです。こちら辺の費用負担をどうするかというのは、これから観光協会さんにご相談をさせていただきたいと思えます。

それから、インバウンドですね。日本語のホームページをただ外国語にするだけではなくて、これも武田真議員さんからもご質疑いただきましたけれども、やっぱり付加価値をしっかりとかけるべきでしょうというのは、本当におっしゃるとおりだと思います。先般その旅行会社さんとお話ししたときに、ただフリーワイファイを設置しただけでは当然お客さん来ませんから、例えばタイや台湾のお客様がお見えになったとき、札幌から富良野へ移動する途中で砂川に寄るような、一回モニター制度を検討してみたいかというお話で、その際フリーワイファイを設置しているお店に寄るようなことを企画した際、今度はそのお店側で付加価値をつける。例えば5%引きますよとか10%引きますよというような、そんな付加価値があるとすごくいいですねというようなご提言もいただいていた。先ほど実は日本人の日常の生活にとっても興味を持たれているというお話もあって、これは

私も札幌映像機構さんからお話をお聞きしましたが、市内のあるラーメン屋さんにご案内したときに、カウンターと畳の小上がりがあって、これはいいと、これは素晴らしいというお話をいただきました。意外にそういうところが喜んでもらえるのかもしれないなというふうに感じております。

S u B A C oとの連携、これはもうS u B A C o自体がまちへの回遊を目的としておりますので、既にフェイスブックなんかも立ち上げておまして、その費用がかからずにできる手法もあると思うのです。これが観光協会さんのホームページがパワーアップになったときにリンクをさせていただいて、S u B A C oへも誘導していただいて、S u B A C o側でフリーワイファイのスポットなどをPRするという手法は十分考えられることだと思います。

○議長 飯澤明彦君 武田圭介議員。

○武田圭介議員 定住自立圏での中空知の就業と移住支援のほうについてはわかりましたし、今回この予算を通してそういうサイトがつけられた後も、効果の検証とかというのは別の機会でもた聞くことができると思いますので、そちらのほうはまたしっかりやっていたいただきたいと思います。

それから、商工費のほうについても、今るる答弁をいただきましたけれども、やはりこれも結局繰り返しになりますけれども、サイトをつくって終わりではなくて、実際にやっぱり砂川に人を呼び込まないと、本当の意味での成功とは言えないわけですから、これについても今回予算が通れば、また機会を改めて随時いろいろとこちらも調べてきたことの提言等を踏まえてしっかりとお互いによりよい効果を発揮できるようにやっていきたいと思っております。

終わります。

○議長 飯澤明彦君 他にご発言ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これで質疑を終わります。

続いて、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これより、議案第1号を採決します。

本案を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、原案のとおり可決されました。

◎閉会宣告

○議長 飯澤明彦君 以上で日程の全てを終了しました。
これで平成28年第3回砂川市議会臨時会を閉会します。
閉会 午前11時10分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年3月25日

砂川市議会議長

砂川市議会議員

砂川市議会議員